

【循環器内科】

高血圧のお話(4) 血圧の薬は飲み始めたら  
一生飲み続けなければならぬ？

国吉病院

医師 国吉 和重さん



高血圧は、医療機関の診察室での血圧と家庭血圧を参考にし、診断し、薬が必要な場合は降圧薬を処方しますが、この時しばしば「血圧の薬は飲み始めたら一生飲まなければなりませんか?」という質問を受けます。答えは「NO」で、あくまでも血圧を測りながら薬を調節します。高血圧治療ガイドラインでは「診察室血圧と家庭血圧の間

に差がある場合、家庭血圧による測定値を優先する」と記載されています。ぜひ、正確に測れる上腕用の家庭血圧計の購入をお勧めします。血圧値は夏と冬では異なるため、夏には薬を減らすこともあります。中には冬の寒い時のみ降圧薬を服用し、夏は服用する必要のない方もおられます。特に高齢者の場合、血圧の日内および季節での変動

があるため、家庭血圧計の購入をお勧めしております。自宅での血圧の変化に対してどのように降圧薬の服用を調節するのか、あらかじめ担当医師と相談しておくことが大切です。重要なことは「自分の判断で降圧薬を中止しないこと」です。

医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科(ペインクリニック) 他